



ここはどこ？正解は、「じぞうのじもと行脚」に！！

今回はSDGsについて取り上げさせていただきます。
改めて「SDGs」とは、2030年を期限とする17の国際目標で「地球上の誰一人取り残さない社会の実現を目指し、経済・社会・環境の諸課題を統合的に解決しようとするもの」となっています。ここ豊島区は、内閣府より「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」にダブル選定され様々な関連事業を進めています。
巣鴨図書館でも、昨年度「来館者アンケート」など7つの関連事業を展開しました。今年度も、コロナ禍の影響で利用を停止していた地下1階のリフレッシュコーナーをSDGs関連展示スペースとして模様替えをし、「SDGsクイズ」などたくさんの事業を展開していきます。
地下1階にあるためほとんどのお客様が利用されない場所となりますが、この機会にぜひ観覧して、SDGsについて関心を持っていただくとともに、豊島区や巣鴨図書館の取り組みにご協力いただきたくお願いいたします。（館長）



去年の夏は楽しみにしていた「図書館タンテイ」がなくて淋しかったです。
今年は、タンテイではないけれど、楽しそうなイベントが!(^^)!
イラスト作 作間 なぎさ

7月の行事

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
新刊	休館					
11	12	13	14	15	16	17
新刊						
18	19	20	21	22	23	24
新刊						
25	26	27	28	29	30	31
新刊	休館					

じぞうくんといっしょにSDGs

7月22日から、児童向けのイベント「じぞうくんといっしょにSDGs」が始まります。新型コロナの影響で、イベントがなかなか実施できないのですが、今年は、接触機会を減らしたイベントということで企画しました。詳しくはトピックをご覧ください。

編集後記

SDGsという言葉を目にする機会が、日に日に増えてきている気がします。
地球の未来のために、今できることを…大きな目標ですが、まずは日々の暮らしの中でできることを探していければと思っています。
そうそう、「すがもがーでん」もSDGsの一環です。
来月号には夏野菜の成長具合と共に、そんなトピックをお届けしたいと考えています。
(M)

じぞうくんといっしょにSDGs 知っていますか？SDGs

夏休みに実施予定の児童向けイベントと2階常設展示コーナーご紹介

今年夏は、巣鴨図書館でSDGsについてかんがえよう！コースは3つ。まずは図書館でスタートコースに挑戦しよう！

チャレンジコース、マスターコースだけの参加もできます。HPから用紙を印刷して巣鴨図書館に持ってきてね。

期間：7月22日（木）～8月26日（木）

参加者には各コースごとにプレゼントがあるよ！！

サステナブル U.S. DEVELOPMENT GOALS

巣鴨図書館 3910-3608



2階の特設コーナー 必見です！

食いしん坊司書の部屋



猫好きさん集合
第2弾(=^・^=)

<Kさん談>

我が家には18年一緒に暮らした猫がいました。仔猫の時に裏庭で一人ぼっちで鳴き続け、ウチの子になりました。オスですが、心優しい穏やかな猫でした。昨年、天寿を全うし、虹の橋を渡っていきましたが、苦しむこともなく眠るような最期でした。

ペットとの別れは、本当に辛く悲しいものです。しばらく泣いて暮らしましたが、縁あって2歳の保護猫を引き取りました。元気なメス猫で、家じゅう走り回っています。きっと先代猫が引き合わせてくれたのだと思って、大切に育てていくつもりです。

<Mさん談>

児童書を担当している私が、自宅で読み聞かせの練習をしていると、いつのまにやら猫が正面に座って絵本を見上げています。せっかくなので、猫のためにも1冊読んであげることになりました。わかっているのか、わかっているのか、いつも神妙な顔をして聞いているんですよ。

そして、最後におすすめの本を一冊ずつご紹介。

ハルノ宵子は吉本隆明の長女、よしもとばなのお姉さんです。家猫・地域猫へだたりなくお世話をしている、この本にはその様子が面白おかしく書かれています。

オススメ猫本は・・・

「それでも猫は出かけていく」
ハルノ宵子／著 幻冬舎 (645 円)

猫好きの方に～オススメの絵本～

「ねこはるすばん」
町田尚子／作 ほるぷ出版 (E74)

じぞうくんのそばくな疑問



初めまして、ぼくはじぞう。
。心にうつりゆく
ちょっとした疑問を
ここでつぶやいていくよ。



じぞうくんのところに、かっばくんが遊びに来ましたよ。じぞうくんに教えてもらった本、長編だけど楽しく読めたみたいです。

かっば こんにちは。紹介してもらった本、今回も面白かったです。

じぞう こんにちは。次はどんな本が読みたいの？

かっば 今度は海外のミステリーにも挑戦したいです！

じぞう じゃあ有名な作品から、アガサ・クリスティーさんの「そして誰もいなくなった」。兵隊島の屋敷に集められた10人の男女が、不気味な声を合図に、ひとりずつ命を落としていく、ミステリー史上最も有名な傑作だよ。結末も有名なのに、やっぱり読むと惹き込まれちゃうよね。

それからコナン・ドイルさんの「名探偵シャーロック・ホームズ」。ワトスンがロンドンで出会った不思議な男・ホームズ。彼は「世界一の名探偵」、舞いこんできた難事件を二人で捜査することになっていく、世界最高のコンビのお話だよ。ドラマや映画などから入って、改めて原作を読み直すと「これは？！」っていう発見があるかも。海外ミステリー好きは、CWA賞やMWA賞をチェックして、面白そうな作品や作家との出会いを探したりするみたい。CWA賞は英国推理作家協会、MWA賞はアメリカ探偵作家クラブによって選ばれる賞だよ。

かっば ありがとうございます。さっそく借りてみます！

じぞうくんのおすすめ本はこちら

- ①『そして誰もいなくなった』
アガサ・クリスティー／著 早川書房
(ク) 駒・目・中所蔵
- ②『名探偵シャーロック・ホームズ—
色の研究—コナン・ドイル／作
KADOKAWA (JBト) 上池袋所蔵

じぞうのじもと行脚

<坂、坂、階段、ときどき日本庭園>

今回は、南池袋→雑司ヶ谷→高田を歩きます。出発は、西武池袋線の池袋駅南口。まずは東通りから、墓地の脇の細道を通り、法明寺→雑司ヶ谷鬼子母神堂→大鳥神社の御利益コースを踏破。神社前の都電の踏切を渡り、弦巻通りに入ります。しばらくは住宅街が続きますが、途中から昭和感溢れる渋い商店街に。評判のパン屋さんでお昼を調達した後は、住宅街を南に抜け目白通りへ。文京区方向に向かい、不忍通りとの合流点手前の角を右折すると、本日の目的地が見えてきました。

向かって左に下り階段(日無坂：豊島区高田と文京区目白台の境)。同じく右に下り坂(富士見坂：高田)。いずれもかなりの急角度。二つの道に挟まれた三角地帯には、蔭びっしりの古い木造家屋。階段、坂、もじゃハウスと、大好物てんこ盛りです。実はここ、以前から一度は来てみたいと憧れていた場所でした。富士見坂は明治以降に作られたそうですが、日無坂は江戸時代の地図(『嘉永新鐫雑司ヶ谷・音羽絵図』、『豊島区地域地図 第3集』収録。豊島区立図書館全館で所蔵あり)にも載っている歴史ある坂です。絶景を堪能した後は、富士見坂を降り、高田と目白台の境の道を10分ほど歩き、今回の折り返し地点、肥後細川庭園に到着です。

肥後細川庭園は、肥後熊本藩細川家ゆかりの日本庭園です。文京区の庭園ですが、正門の向かいが高田一丁目。池袋からでも徒歩1時間ほどでした。面積は六義園の1/4とコンパクトながら、池・遊歩道・高低差と三拍子揃った立派な池泉回遊式庭園です。昨夏訪れた時は、池でカワセミを目撃しました。これで入園無料。太っ腹です。感嘆しつつ、築山のベンチでお弁当を広げた私でした。(A)

旅のお供に
ふさわしい図書館
蔵書をご紹介

ともぼん お供本

『東京凸凹地形案内』 平凡社 (291.3ト)

『美しい3D地図でみる東京スリバチ地形散歩 都市新発見編』 洋泉社
(上池袋・目白・千早図書館所蔵)